

ふるさとの鼓動

北に生きる心

むすんで

<ホームページにカラー版を掲載中!>

こぶし

第158号

発行責任者：横井正人

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

2023年8月21日発行

編集：機関紙局

北海道函館市陣川町 122-172

年2回発行

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- (1)アウトリーチの感想とお便り
- (2) 寄稿…「民生委員児童委員大会」に舞うこぶしの花
- (3) 第26回通常総会の報告
- (4) 今年度の公演・講座



7月23日 函館市民会館(大ホール)

<第32回「道南口説節」全国大会>

- ・コロナ禍により4年ぶりの開催!!
- 座員・松岡が予選会を通過して、二日目の決戦会に挑むも…。



8月5日 別海町矢白別

-第58回-

- <矢白別平和盆おどり大会>
- ・開会を告げる[打上げ花火]

<函館市「アウトリーチ事業」>

- ・毎年、市教育委員会が主管する事業で小中学校に太鼓の実践指導を行っている。
- …真剣な眼差しに、毎回、感動する!



6月16日 東山小学校(2年生)

<函館市「民生委員児童委員大会」>

- ・[アイヌの歌や踊り]…250名超の方々に…



5月18日 芸術ホール



7月上旬

<オオウバユリの群生>

- ・こぶし座会館への道端で…アイヌ語で「トゥレフ」
- ～根からデンプン質をとる。大切な保存食～



…バラの剪定…

<庭木剪定作業中の安藤氏>
 ・本部棟の修繕を終え、大工さん
 から一転：庭師へ変身!!

残暑お見舞い

申し上げます

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

記録的な猛暑の続く日本列島。函館でも観測史上初となる35度超えの酷暑を経験し、汗だくの夏を乗り越えるべく奮闘(?!?)しているこぶし座です。

さて、前半期の活動は、五月に函館市「民生委員児童委員大会」の催しで、私たちの「アイヌの歌や踊り」を観ていただき、六～七月は、函館市アウトリーチ事業で、小中学校での太鼓講習を行って、児童生徒たちと心地よい汗を流しました。

八月月上旬には、「矢白別平和盆おどり」に参加して、響き渡る太鼓に合わせ、笛を吹き歌い囃し踊る輪の中で、久しぶりに仲間が集える事の喜びと感動を分かち合ってきました。

交流のステージでは、二人(計良・松岡)で演じる「アイヌの歌や楽器演奏」の初披露の場ともなり、温かい拍手と声援に支えられて、嬉しさと緊張感の入り交じった楽しい舞台を務めることができました。

「私は、ここに居たいのです」と矢白別の原野を生き抜いた川瀬汎二さんの人生が、「アイヌネノアンアイヌ」(人間らしい人間)として生きることの素晴らしさと厳しさ…に重なり、胸が熱くなりました。

*

九月からは、こぶし座支援バザー、保育園公演、そして、講座講習活動が始まります。

『ひめこぶしII』の公演準備と実践を進めながら、人のいるところへなら何処へでも出かけて行って公演活動を増やしたい。微力でも北海道の歌舞団としての役割を果たせたらと願っています。

異常なほどに暑い今年の夏…。「熱中症」対策を怠らずに、「新型コロナウイルス」への感染予防など体調管理にも留意され、どうかお元気でお過ごしください!!



素直な感性に驚かす
三育小1～3年生



元気ハツラツ!! 毎日の学校生活が楽しい様子が、ピンピンと伝わってくる…。(南茅部中学校)



打ち終わり「やー」… (東山小2年生・女子)

・僕は今回の学習で和太鼓は人の心を楽しませてくれ、いい気持ちになると思いました。僕もやってみましたがとても難しかったです。こぶし座様の太鼓はリズムの取り方やずっと笑顔ですごい方だと思いました。(中1・男子)

・和太鼓の音色は重く、ずっしりしていて花火をみているような感覚になりました。また、太鼓をたたいている時は違い、終わった後の音にも心を打たれました。(中2・女子)

・和太鼓を実際に間近で見て、音を聞いたときの迫力はとても感動しました。パチの持ち方と打ち方だけわかれば簡単に演奏できると思っていましたが、リズムによって打ち方が違ったりと、意外と難しかったです。そしてすぐ腕が疲れてしまったので、プロの方はすごいなと感激でき、とてもいい体験ができました。(中3・女子)

感想から…
たくさん感想をありがとうございます!!
紙幅の関係で、いくつかを紹介しします

2023年度<前半期> 函館市 「アウトリーチ事業」

〈講師：松岡智恵美・計良正子〉

今年もまた、元気いっばいの児童生徒からエネルギーをもらいました!

・アウトリーチ、和太鼓を教えてください有りがとうございます。おまつり気分でした。また和太鼓をやる時先生のようなえ顔でやりたいです。和太鼓ばちは、おもかったです。うつついい気分になりました。先生の話聞いて「ドンドドドドドドド。」というリズムでたたきました。それをつぎの和太鼓教室で生かしたいです。いいけいけんになりました。(小3・男子)



番さなんかは何のその!! (東山小2年生)

・今年のアウトリーチで、和だいをこをして、その中でも、たいこを連打することが、一番、楽しかったです。また、あらためて、楽器にきょう味がわいて、たいこが好きになりました。また、最後のアウトリーチでたいこができて、とてもうれしかったです。(小6・男子)



〈南茅部中学校(全景)〉

今年、4月に開校した新校舎。豊かな自然に囲まれた学び舎で、生徒たちの表情もイキイキとしていた!

は一味違う、音楽の新たな魅
化に触れる機会は、いつもと
な楽器やその演奏、そして文
ががあります。日本の伝統的
な場面音楽活動をする機会
奏など、学校生活のさまざま
美歌の合唱やハンドベルの演
えを土台とする本校では、讃
になりました。キリスト教の教
充実した学びと体験の時間と
たご指導のおかげで、楽しく
わがりが来ないように工夫され
もあつたことと存じますが、
で、時間配分や指導の難しさ
のなかで指導するということ
飽きが来ないように工夫され
取り組むことができました。
1～3年生と4～6年生の2
クラス分の授業を約1時間半
の中で指導するということ
もあつたことと存じますが、
わかりやすく丁寧に、そして
飽きが来ないように工夫され
たご指導のおかげで、楽しく
充実した学びと体験の時間と
になりました。キリスト教の教
えを土台とする本校では、讃
美歌の合唱やハンドベルの演
奏など、学校生活のさまざま
な場面音楽活動をする機会
があります。日本の伝統的
な楽器やその演奏、そして文
化に触れる機会は、いつもと

《お便りの紹介》
7月3日(月)に実施した
「三育小学校」の先生から、
お礼のお便りが届きました。
…内容を一部抜粋して
ご紹介いたします…
先日は、「和太鼓」のアウト
リーチ特別授業のために学校
にお越し下さり、ありがとう
ございました。初めて和太鼓
に触れる機会になった子も多
く、みんな楽しく体験活動に
取り組むことができました。
1～3年生と4～6年生の2
クラス分の授業を約1時間半
の中で指導するということ
もあつたことと存じますが、
わかりやすく丁寧に、そして
飽きが来ないように工夫され
たご指導のおかげで、楽しく
充実した学びと体験の時間と
になりました。キリスト教の教
えを土台とする本校では、讃
美歌の合唱やハンドベルの演
奏など、学校生活のさまざま
な場面音楽活動をする機会
があります。日本の伝統的
な楽器やその演奏、そして文
化に触れる機会は、いつもと



〈後半の部…4～6年生〉 やりきった～!! 全員で決めポーズ

力に気づくことのできる貴重
な体験となりました。また、
以前に来ていただいたときに
体験をしていた上級生たち
は、なつかしさや、当時と比
べてレベルアップできた喜び
を感じていたようです。重ね
重ね感謝申しあげます。
…(中略)…
前回に引き続き、今回も、
このような大変素晴らしい機
会を与えて下さり、心より感
謝しております。本当にあり
がとうございました。
函館三育小学校
〈担当〉 平田 生いくる

寄稿：

『函館市・民生委員児童委員会大会』に舞う「こぶし」の花

函館市民生委員児童委員 主任児童委員 上野山隆一

世界的規模で感染拡大した
コロナウイルス感染症でした
が、4年ぶりに『函館市民生
委員児童委員会』の大会も開催
する運びとなり、私は数年前
に観たこぶし座さんのアイヌ
の歌や踊りを観て感動した気
持ちから、委員の皆様にも、
ぜひご覧になっていただきた
いと思ひ、出演の依頼をお願
いいたしました。

現在のとても厳しい時代の
流れに、私たちは川の流れに
逆らうがごとく立ち向かって
いかなければならない事は、
アイヌの歴史と通じるものが
あると私は感じております。
アイヌが自然から学び得る
ものは全く無駄がなく、神や
仲間への感謝の気持ち、子孫
と未来へとつなぐ気持ちを大
切にする事をこぶし座さんの
演舞から感じる事が出来ま
した。

また、会場の皆様と一緒に
なって歌って楽しむ後半で
は、笑顔と笑いが沸き起こり

こぶし座さんと会場が一つに
なつて交流が出来ました。
この度の演舞をご覧になつ
た委員の方々からは「私たち
は北海道に住んで居ながら、
身近なアイヌの存在をなかな
か感じる事が出来ませんが、
こぶし座の女性の柔らかい歌
や踊りやトンコリは、とても
シンプルでありながら力強い
表現力を感じました」などの
感想をいただきました。
この度の内容は、2017年から
5年間、JR東日本「TRAI
N SUITE四季島」で実施
されていたものであり、その
演舞を観る機会を得て私たち
は本当にラッキーでした。
この度は、本当にありがとう
ございました。

【上野山隆一氏について】

・機関紙136号にも寄稿してくだ
さった、こぶし座後援会会員。
・現在、座もお世話になっている
「陣川あさひ町会」の町内会長。
・地域に暮らす人々と、特に子ど
もたちへの愛情豊かな人柄は、誰か
ら信頼される素敵な方です。
・ヘウエノヤマ技巧を営む58歳

矢白別平和盆おどり

四年ぶりにリアル開催!!
あいにくの天候ではあったが
懐かしい仲間との再会に、
熱い想いがこみあげてきた…。

今年8月5日の本祭から
3名で参加した。

現地入りは午後三時過ぎ。
早速、事務局に到着の報告を
して、全国に支援の輪を広め
てくださった矢白別平和委員
会の吉野宣和氏に、この間の
「支援募金」へのお礼と心から
の感謝を述べた。

雨天決行!!本祭が開会。
実行委員長・矢白別住人の挨拶
に続き、活動報告・大会宣
言の後、各地の仲間たちによ
る芸能交流が行われた。
待ちに待った「かがり火」
が焚かれ、花火が打ち上がる。
そして「盆おどり」へと催しが
進む…。こぶし座の二人も、



〈ステージ交流の様子から〉
地元合唱団の「アンラコロ」&
ツカ-ツツグ ライフ「菊地哲史」

歌と笛で演奏団に加わった。
一時間近くの踊りの輪がと
け、今度はステージ交流の部
へと移る。こぶし座の演目は
アイヌの歌と楽器演奏。ここ
「矢白別」での「ムツクリ」や
「トンコリ」の音は、静寂の森
にこだまして響き渡り、平和
な時の流れをととても豊かに彩
るようであった。皆さんにも
ウポポを覚えてもらい共に歌
い、また、アイヌ語での「薬
草の話」も聞いてもらった。

翌朝、お互いに元気に生き
抜く力を貰いあい、再会を胸
に帰路についた…。(計良徹・記)



《支援募金のお礼》
*座活動継続のための
お力添えを、改めて
お願いいたします!!
今年度も、後援会員の方々に
中心に「支援募金」が寄せられ、
極端に減少した公演による収入
を支えしてくれております。
二〇二〇年の「緊急支援募金」
にはじまり、このコロナ禍を生き抜
いてこられたことは、皆様からの
温かく力強い「支援継続」があつた
からこそと、心より感謝いたして
おります。
しかしながら、年明けの大雪に
よる建物の損壊、春先起こつた
設備の改修費増大…と、新たな
非常事態に遭遇しており、皆様
からの支援継続をお願いしたく
考えております。
諸物価高騰の折り、失礼なが
ら、どうかお力添えください。

来て! みて!
こぶし座
支援
バザー &
ミニライブ
〈ひめこぶしII〉
とき: 9月24日(日)
午前10時~
ところ: こぶし座会館
(函館市陣川町122-172)
提供品をお寄せください!
【連絡先】後援会事務局(横井)
TEL.0138-54-2859

＝ 公演及び講座講習 ＝ (今年度分/実施済含む)

8月20日現在

《保育園公演》

- 10月
 - 25日(水) 函館・人見認定こども園
- 11月
 - 13日(月) 札幌・栄町あおぞら保育園
 - 13日(月) 札幌・くまの子保育園
 - 14日(火) 札幌・白石うさこ保育園
 - 15日(水) 札幌・大地の杜保育園
 - 15日(水) 札幌・北の星白石保育園
 - 16日(木) 札幌・桑園保育所
 - 17日(金) 札幌・菊水上町保育園
 - 17日(金) 札幌・しせいかん保育園
- 1月
 - 17日(水) 函館・つくしの子保育園
 - 18日(木) 函館・青い鳥保育園
 - 23日(火) 八雲・国の子保育園

《特別公演》

- 5月18日(木) 函館市「民生委員児童委員大会」
- 10月15日(日) 赤川町会・第1回秋祭り(予定)

《講座講習》

- 6月
 - 16日(金) アウトリーチ「東山小学校」
- 7月
 - 3日(月) アウトリーチ「三育小学校」
 - 4日(火) アウトリーチ「南茅部中学校」
 - 7日(金) 三育認定こども園・太鼓指導(保育士)
 - 28日(金) 三育認定こども園・太鼓指導(一々)
- 8月
 - 24日(木) 三育認定こども園・太鼓指導(園児)
- 9月
 - 15日(金) 三育認定こども園・太鼓指導(一々)
 - 28日(木) 三育認定こども園・太鼓指導(一々)
- 10月
 - 27日(金) アウトリーチ「鱒川小学校」
 - 27日(金) アウトリーチ「鱒川中学校」
- 11月
 - 27日(月) アウトリーチ「旭岡中学校」
 - 30日(木) アウトリーチ「青柳中学校」

第26回「通常総会」報告

コロナ禍後、現法人として今後も見据えて、新たな公演形態をめざし更なる活動の継続を！

さる、四月二十九日(金)「第26回通常総会」が行われました。社員総数十四名、出席者十二名。

冒頭、座内部の辛い出来事のなか、新たな公演態勢を何とかつくりあげ活動を行ってきた事。何より「支援募金22」継続への財政的支援により、一年間の活動を展開できて心から感謝しているーとの横井理事長の挨拶後、具体的な審議に入りました。

*

第一号議案「二〇二二年度事業報告」では、学校公演の実施にあたり、元座員の協力を得ることができ助けられたこと。また、保育園公演、そして毎年実施の函館市アウトリーチ事業―講師活動のことなど、全33回の公演や講座について報告されました。

第二号議案「二〇二二年度収支決算報告」では、昨年を

上回る「後援会からの支援金(会費納入)」と、更に、継続して取り組んだ「支援募金22」がたくさん寄せられたことで財政を維持できた点などが確認されました。

第三号議案「二〇二二年度事業計画」では、新しい作品創造への挑戦と合わせ、座員の高齢化と後継者難に直面している現状をふまえ、より実態にあう法人経営のあり方(財産の維持管理など)を調査研究し、この先を見据えた計画性ある活動内容の具体化を図ることが提案されました。

第四号議案「二〇二二年度収支予算」は、激減する公演収入の実情を鑑み、より一層後援会員・支持者の皆さんの力を借りて、社員一丸となつて事業継続を目指すことを掲げました。



＜第26回通常総会を終えて…＞
本年も、昨年同様のお力添えを!!

伝言板

◆雪害での本部棟外壁損傷

今年2月、本部棟裏の「さしかけ屋根(下屋)」が大屋根の落雪により激しく損傷。母屋外壁が剥がれる事態に!! 急遽、マコト建設(安藤氏)に全面依頼。6月中旬に無事に完成。大規模な復旧工事であった。(息子さんも心配し、急遽、宮古島の現場から駆けつけて様々な助言をくれた。)

◆水道のポンプ故障

4月の中旬、今度は住宅へ供給するポンプ(モーター部)の故障が発覚。こちらは、設備関係でお世話になっている「志賀松設備」に相談する。いつかはダメにと覚悟していたが、こればかりは死活問題で待ったなし!!しかし、新規ポンプの入荷は7月18日。そしてようやく!半日がかりの取替工事で無事に稼働。最悪の事態をまぬがれた。(志賀松設備・担当者の尽力と社長の応援もあり、何とか少しでも負担軽減を…と気遣っていただいた。)